

みまや通信

2023年2月
第18号



紹介

がん集学的治療センター 特集

Contents

目次

- がん集学的治療センター特集……………2～4
- 【不定期連載】数字でわかる!!……………7
いわき市医療センター(第2回)
- 認定看護師に聞く!……………5～6
～がん患者さんの治療を支える中で～
- 院内トピックス……………8～9
- 外来担当医一覧……………10～11



いわき市医療センター公式
Facebook

いわき市医療センター公式フェイスブックを開設しています!
ぜひ「いいね!」をお願いします!

がん集学的治療センターの紹介

過去、30年にわたって、日本人の死因の第1位は「がん」であり、日本人の2人に1人は生涯で「がん」になり、3人に1人は「がん」で亡くなると言われています。

一方で、これまでのがん研究の成果による診断・治療法の進歩とその普及によって、がん患者さんの「5年生存率」の改善が進み、一部のがんは完治できると考えられるようになってきました。

皆さんは、「がんの集学的治療」という言葉をご存じでしょうか？

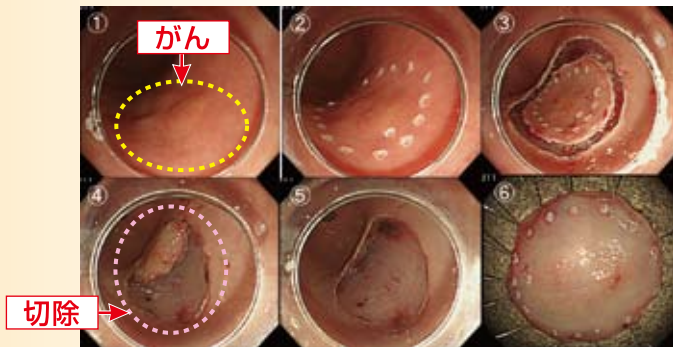
フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』にどう記載されているのか確認してみたところ、「**集学的治療**」(しゅうがくてきちりょう、multidisciplinary therapy、multimodal therapy)とは、主にがん治療において、「手術療法」、「薬物療法」、「免疫療法」、「放射線療法」などを組み合わせて治療にあたることであり、広い意味では、副作用を和らげる「支持療法」や、心身の苦痛を和らげる「緩和医療」も含まれるとありました。

今回は、当センターが行っている「集学的治療」について、代表的なものをいくつかご紹介します。

1 手術療法(外科治療)

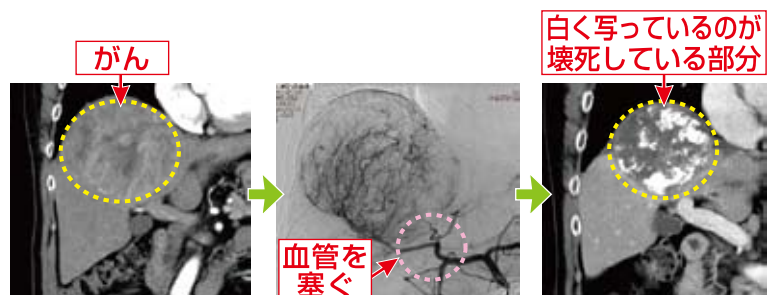
手術と言いますと、胸やお腹を大きく切り開き、「がん」を取り除くというイメージを持たれる方が多くいらっしゃいますが、最近では、「がん」が出来た場所や大きさなどによって、体に小さな穴を開け、そこからカメラを通して手術を行う「腹腔鏡手術」をはじめ、「内視鏡手術」や「カテーテル手術」、さらには細い管を血管内に挿入し薬剤を直接注入する「血管内手術」といった手術も行われるようになり、治療の幅が広がってきています。

当センターでも、「外科」や「産婦人科」で行われる「腹腔鏡手術」、「子宮鏡下手術」のほか、「消化器内科」で行われる「内視鏡手術」(図1)や「血管内手術」(図2)、「泌尿器科」で行われる「膀胱鏡下手術」(図3)など、病気の進行や、患者さんの状態に合わせて、体への負担を最小限にする「体にやさしい手術」を数多く行っています。



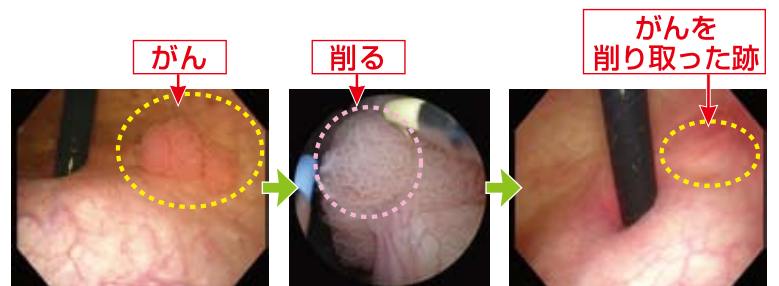
〈図1〉早期胃がんに対する内視鏡手術
(内視鏡的粘膜下層剥離術)

- ①～②がんを切除する範囲をマーキング
 - ③～⑤胃の粘膜の下に、薬剤を注入して切りやすくし、剥離して切除
 - ⑥病理検査へ
- ※がん細胞が取り切れているか等を確認



〈図2〉肝臓がんに対する動脈塞栓術

「がん」に栄養等を送る血管に特殊な薬剤と材料を詰めて、がんを壊死させるもの。



〈図3〉膀胱がんに対する経尿道的切除術

尿道から直接膀胱にカメラや特殊な器具を入れて、腫瘍部分を削り取るもの。

～手術療法の未来～

がんの手術において、近年、「手術支援ロボット」を用いた手術が、保険診療での適用範囲が広がるなど、全国で急速的に普及しており、現在、当センターでも手術支援ロボットの導入に向けた準備を進めています。

現在は、がん細胞の遺伝子レベルまでの解析が進んでおり、それが日々、新しい治療の開発に応用され、新しい治療薬が次々と導入され始めています。

以前の薬は、がん細胞だけではなく、正常な細胞も攻撃してしまうため、様々な副作用で患者さんの日常生活が妨げられることや、薬剤の耐性(薬が効かなくなること)で、腫瘍を小さくする効果がなくなってしまうことなどに、私たちも頭を悩ませ続けてきました。

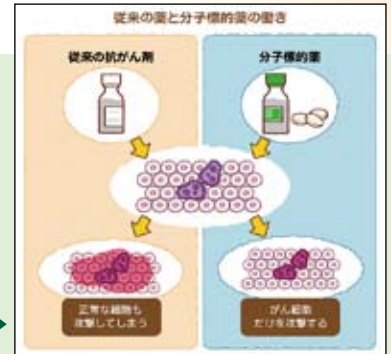
近年使用されるようになった「分子標的薬」や「免疫チェックポイント阻害剤」と呼ばれる薬は、これまでの抗がん剤と比べて副作用が少ないなど、これらの問題を解決しつつあると実感しています。

「分子標的薬」〈図4〉

がん細胞の増殖に関わる特定の分子(たんぱく、遺伝子)を狙い撃ちして、「がん」の増殖を抑える治療薬です。

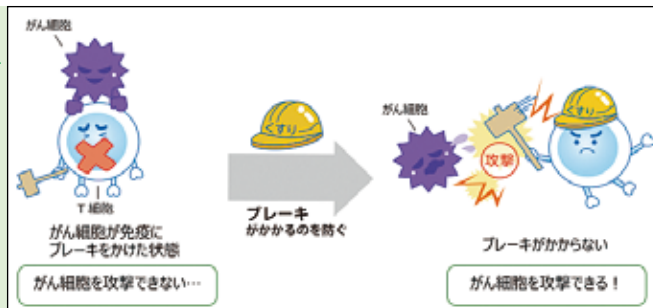
※がん細胞を遺伝子レベルで解析(ゲノム解析)し、それぞれの患者さんに効きやすく、より副作用の少ない投薬治療が可能となる「テーラーメイド医療」(個別化医療)が主流となる時代が近付きつつあります。

〈図4〉分子標的薬のイメージ▶



「免疫チェックポイント阻害剤」〈図5〉

がん細胞の性質である、免疫細胞ががん細胞に対して攻撃を行わなくなる仕組み(ブレーキ)に働きかけ、免疫細胞の力を回復させる(ブレーキを解除する)、日本で開発された比較的新しいタイプの治療薬です。



◀〈図5〉
免疫チェックポイント
阻害剤のイメージ
※T細胞=免疫細胞

また、現在も次々と新たな薬剤が登場し、適用できるがんの範囲が拡大されるなど治療の幅が広がっており、以前のように、臓器別や組織別といった適応ではなく、診療科の垣根を越えた抗がん治療が行われる時代に突入したと実感しています。

今後、新たな分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤の開発に加えて、それらを併用する時代が到来すると考えています。

当センターには、「がん化学療法認定薬剤師」や「がん化学療法認定看護師」が在籍しているほか、福島県立医科大学腫瘍内科と連携し、これらの進化する薬物治療を安心して患者さんに受けていただくための体制づくりに努めています。



(写真) 外来化学療法室のようす



(写真) 抗がん剤のミキシングのようす

平成30年12月の医療センター開院に合わせて、最新鋭の放射線治療機器『True beam(トゥルービーム)』を導入しました。(表紙写真)

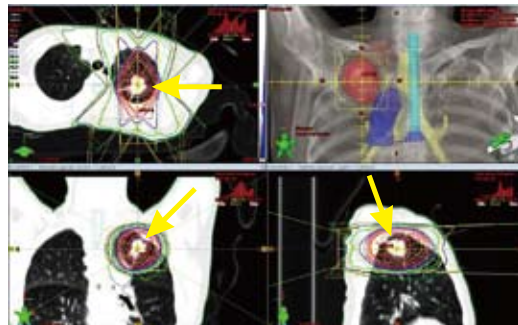
この機器は、「がん」の形や大きさに合わせて、腫瘍部分に放射線をあて、がん細胞を焼灼する「定位放射線治療」や「強度変調放射線治療」などを短時間かつ正確に行うことができます。

また、体の中に出来た「がん」は、患者さんの呼吸や体の動きなどで、放射線をあてる位置にずれが生じる場合があります。これまででは、それを見込み、範囲を広げて放射線を照射せざるを得ませんでした。この機器は、治療する台の上に寝たまま体内の撮影ができるため、放射線を照射する位置を合わせることが可能で、より正確に放射線をあてることができます。

このため、患者さんは無理に呼吸を止めたりする必要もなく、炎症等の副作用も最低限まで抑えることが可能です。



(写真)放射線治療機器(リニアック装置)



〈図6〉使用イメージ

がんの形や大きさに合わせて放射線をあて、「がん」を焼灼する。※右の白い塊が「肺がん」

4

緩和治療

30年前は、まだ「がん」の告知のほか、患者さんやご家族の心身の苦痛を取り除く「緩和ケア」という概念が浸透しておらず、いつの時期からケアを行って良いのか正直わからない状況でした。

そのような中、国の方針で、医師への緩和ケア教育の取り組みが開始されるなど、徐々に医療の現場に意識改革の波が押し寄せ、当センターでも開院に合わせて、長年熱望していた「緩和ケア病棟」を開設することが出来ました。

病棟スタッフは、「緩和ケア認定看護師」を中心に緩和ケアのスペシャリストを配置し、病棟の設えはゆったりとして落ち着いた雰囲気、可動性を重視したモダンな造りとなっているほか、様々な植物が咲き誇る庭園が併設されており、患者さんにくつろいでいただける空間となっています。

また、医師や看護師をはじめ、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなどで構成する「緩和ケアチーム」と連携しながら、患者さんやご家族にとって、出来る限り可能な最高の「QOL(クオリティ・オブ・ライフ)」の実現を目標に掲げ、日々治療を行っています。



(写真)庭園



(写真)緩和ケア病棟

5

サポートサロン「えん」

当センターの1階に、がん患者さんやご家族がゆったりとくつろぎ、安らげる場を提供するとともに、治療にあたり、必要なサポートを行うため、「サポートサロン えん」を開設しています。

「えん」には、看護師が常駐しており、来室された方への支援を行っているほか、患者さんやご家族が、ご自身の経験などを語り合う「おしゃべりサロン」や「がんに係るミニ講演&茶話会」などを開催しています。



(写真)サポートサロンえん

今回は、当センターが行っている「がん集学的治療」の一部を紹介させていただきました。

今後も、チーム医療を推進し、更なる治療体制の充実に努めるなど、「地域がん診療連携拠点病院」としての責務を果たして参ります。

〈執筆者紹介〉 本多 つよし



平成26年1月、地域産婦人科支援講座教授として着任

令和 2年4月、がん集学的治療センター長に就任
【専門】産婦人科全般(腫瘍)

【資格】日本産婦人科学会専門医、日本婦人科腫瘍学会専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診指導医、母体保護法指定医、日本がん治療認定医機構認定医、緩和ケアの基本教育に関する都道府県指導者、希少がん肉腫指導医・専門医

(画像提供：図4 中外製薬ホームページ

図5 国立がん研究センター がん情報サービスホームページ)

～患者さんの治療を支える～ 認定看護師の視点から

今号では、「がん集学的治療センター」をご紹介します。

がん集学的治療は、手術・薬物療法(抗がん剤治療)・放射線治療を中心に、患者さんにとってより良い治療を選択していきませんが、医師だけではなく、看護師をはじめとした様々なスタッフが、患者さんに寄り添い支えています。

今回は、その中で、がん治療を支える認定看護師(Certified Nurse)をクローズアップし、色々と話を聴いてみました。

～治療をしながらでも、その人らしく生活できるよう支援したい～

西山 久美子 Nishiyama Kumiko 【がん化学療法認定看護師】

Q1 認定ナースとして、現在どのような仕事や活動をされていますか？

A1 外来化学療法室に勤務し、抗がん剤の投与管理・副作用に対するケアや対処方法について説明を行い、患者さんが「安全・安楽・安心」して治療が継続できるよう支援しています。また、入院中の患者さんから相談があった場合でも、病棟看護師と一緒に対処方法を検討しています。

Q2 資格を取ろうと思ったきっかけは？

A2 患者さんの不安や苦痛に対して寄り添い話を聞くだけで、具体的な支援ができずに後悔したことがありました。そんな時に上司から勧められ、専門的な知識を身につけ、より良い看護を提供できたらと思い認定看護師を目指すことにしました。

Q3 認定ナースとして大切にしていること、心掛けていることを教えてください。

A3 治療をしながらでもその人らしく生活できるよう支援していきたいと考えています。そのためにも、一方的な説明や指導にならないように、患者さんやご家族の立場に立ち、細かく丁寧に説明するよう心掛けています。

Q4 最後に患者さんへのメッセージをお願いします。

A4 がんと診断され、治療を受けることはとても大変なことで辛いこともあるかもしれませんが、皆さんが少しでも苦痛なく自分らしく過ごしていけるよう支援したいと考えていますので、どんな些細なことでも相談していただければと思います。



～外来化学療法室のようす～
患者さんの些細な変化も見逃さないよう、細心の注意を払っている。

～常に、患者さんの気持ちに寄り添い、最善のケアを提供したい～

高萩 由美子 Takahagi Yumiko 【皮膚・排泄ケア認定看護師】

Q1 認定ナースとして、現在どのような仕事や活動をされていますか？

A1 ストーマ(人工肛門)のある患者さんが快適に日常生活を送れるよう、身体にあった装具を選択し、患者さんやご家族に対し、生活していくうえでのアドバイスや、皮膚のトラブルを防止するための「スキンケア」などを行っています。また、褥瘡(じょくそう:床ずれ)がある患者さんに対して、局所ケアや、褥瘡を予防するための看護ケアを行っています。看護スタッフ全体で、より良い褥瘡ケアが行えるよう、スタッフへの教育も担当しています。

Q2 資格を取ろうと思ったきっかけは？

A2 ストーマがある患者さんは、長期間または生涯にわたり、ストーマとうまくつきあっていかなければなりません。そのような患者さんと接する中で、より専門的な技術や知識を身につけて、患者さんをサポートしていきたいと思ったからです。

Q3 認定ナースとして大切にしていること、心掛けていることを教えてください。

A3 常に、患者さんの気持ちに寄り添い、その患者さんにとって最善の方法を考えたケアを提供していきたいと思っています。

Q4 最後に患者さんへのメッセージをお願いします。

A4 もし、「ストーマをつくります。」と説明された場合、大きな不安を抱えて過ごされると思います。少しでも不安が軽減できるよう、外来や病棟の看護スタッフと協力し、入院前から退院後も生活をサポートしていきます。お困りごとがあれば、お気軽に何でもご相談ください。



～ストーマ外来のようす～
患者さんや、ご家族の声に真剣に耳を傾ける。



～病棟カンファランスのようす～
病棟スタッフと、患者さんのケアについて話し合っている。

インフォメーション I

～認定看護師ってどんな看護師？～

認定看護師とは、医療の高度化や専門化が進む中において、常に水準の高い看護を実践できると認められた看護師のことです。「看護分野」ごとに「日本看護協会」から認定されます。

～認定分野ってどのようなものがあるの？～

今回ご紹介した認定分野「がん化学療法」「皮膚・排泄ケア」「緩和ケア」のほか、「感染管理」「小児救急看護」「救急看護」「新生児集中ケア」「慢性心不全看護」など全部で21分野があり、当センターには、「感染管理」など合わせて16名の認定看護師が在籍し、様々な場面で日々患者さんに寄り添った看護や活動を行っています。

～身体や心などの様々なつらさを和らげ、その人らしい生活が送れるよう支援したい～ 小野寺 志保 Onodera Shiho 【緩和ケア認定看護師】

Q1 認定ナースとして、現在どのような仕事や活動をされていますか？

A1 病棟内では、緩和ケアの実践と病棟スタッフの指導をしています。
院内では、「院内ラダー※1」の講義や認定看護師研修のほか、「緩和ケアリンクナース※2」を育成する活動をしています。また、福島県いわき市のがん看護研修に係る講師も務めています。
※1「ラダー」:個々の臨床実践能力を評価し、キャリア開発ができるよう、成長・発達を支援するシステム
※2「リンクナース」:緩和ケアチームや感染制御チーム等の専門チームと病棟看護師をつなぐ役割をもつ看護師のこと。

Q2 資格を取ろうと思ったきっかけは？

A2 入職時から「ホスピス※3」の看護師になりたいとの想いがあり、特にがん患者さんの終末期医療に携わりたいと考えていました。心も身体も和らげて、最期の時を迎えるまでの安楽なケアを提供したいと思ったのがきっかけです。
※3「ホスピス」:終末期を迎えた患者さんのために作られた病棟

Q3 認定ナースとして大切にしていること、心掛けていることを教えてください。

A3 患者さんに対して心のよりどころの人物像に近づけること。
患者さんとご家族が大切な時間を過ごせること。
スタッフに対してモデルナースになれるよう「患者さん、ご家族に寄り添うケア」を自ら実践して指導しています。

Q4 最後に患者さんへのメッセージをお願いします。

A4 緩和ケアは、終末期ケアだけではなく、がん治療と一緒に身体や心などの様々なつらさを和らげ、その人らしい生活が送れるよう支えていくケアを提供しています。患者さんやご家族が抱える様々な問題に寄り添い支援していきたいと思っています。いつでも相談して頼って頂きたいと思います。



～緩和ケア病棟のようす～
患者さんがリラックスした状態で過ごせるよう、緩和ケア病棟では、アロマセラピーを取り入れている。

～患者さんやご家族の気持ちを最優先に考え、その人らしく穏やかに過ごせるようお手伝いしたい～ 鈴木 弥生 Suzuki Yayoi 【緩和ケア認定看護師】

Q1 認定ナースとして、現在どのような仕事や活動をされていますか？

A1 「がん」や「重症心不全」で入院している患者さんの身体や気持ちのつらさが緩和されるように、「緩和ケアチーム」がスムーズに患者さんを支援するため、院内の調整を行っています。また、「緩和ケア外来」では、通院中の患者さんやご家族のお困りごとに対する相談を担っています。

Q2 資格を取ろうと思ったきっかけは？

A2 「つらさ」を抱えながら入院している患者さんに関わってきたなかで、自分の無力さを痛感するだけでなく、自分と同じように悩んでいる看護師も多くいることを感じていました。専門的な知識や技術を身に着けることで、1人でも多くの患者さんやご家族、そして共に働く看護師の力になれたら良いなと思い、資格を取得しました。

Q3 認定ナースとして大切にしていること、心掛けていることを教えてください。

A3 患者さんやご家族の気持ちを最優先に考え、その人らしく穏やかに過ごせるようお手伝いしたいと思っています。つらい状況であっても、笑いの時間を共有することも大切であると感じています。

Q4 最後に患者さんへのメッセージをお願いします。

A4 がんと診断された時から、緩和ケアを受けることで生活の質が上がると言われています。
身体の調子の悪さはないですか？心は穏やかですか？家族は？仕事は？..
気がかりなことや、お困りごとがある時は、どうか一人で悩まずに、気軽に緩和ケアの扉をノックしてくださいね。



～緩和ケアチームカンファレンスのようす～
医師や看護師をはじめ、薬剤師、ソーシャルワーカー等が「1チーム」となり、それぞれの専門性を発揮しながら患者さんを支援している。

インフォメーション II

～緩和ケアとは？～

緩和ケアとは、がんの患者さんの体や心のつらさを和らげ、生活やその人らしさを大切に考える考え方です。

がんの療養中は、痛みや吐き気、食欲低下、息苦しさ、だるさなどの体の不調、気分の落ち込みや絶望感などの心の問題が患者さんの日常生活を妨げることがあります。これらの問題は、がん療養の経過中、程度の差はあっても多くの患者さんが経験します。

「がんの治療のことではないから」と相談できずにひとりで抱え込んでしまったり、「症状だけをなくしても、がんが治るわけではないから」「気持ちの持ちようだから」と症状を和らげることに消極的な人もいます。

今までのがん医療の考え方では、「がんを治す」ということに関心が向けられ、医療機関でも患者さんの「つらさ」に対して十分な対応ができていません

でした。

しかし、最近では、患者さんがどのように生活していくのかという「療養生活の質」も「がんを治す」と同じように大切と考えられるようになってきています。

患者さんを「がんの患者さん」と病気の側からとらえるのではなく、「患者さんらしさ」を大切に、身体的・精神的・社会的・スピリチュアル(霊的)な苦痛について、つらさを和らげる医療やケアを積極的に行い、患者さんと家族の社会生活を含めて支える「緩和ケア」の考え方を早い時期から取り入れていくことで、がんの患者さんと家族の療養生活の質をよりよいものにしていくことができます。【国立がん研究センターがん情報サービス がん対策情報センター発行「がんの冊子 がんと療養シリーズ がんの療養と緩和ケア」より引用】

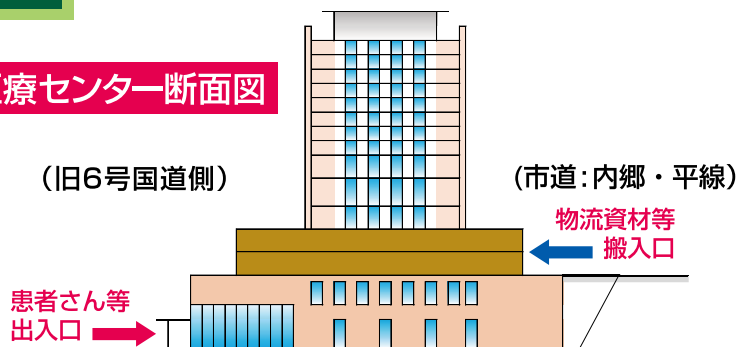
数字でわかる!! いわき市医療センター

本誌第15号(2022年2月発行)では、当センターの「1」と「2」に関するお話をしましたが、今号でも、数字にまつわる2つのエピソードをご紹介します。

これをきっかけに、当センターについて、もっと知っていただければ幸いです。

「3」 「3階に出入口??」

医療センター断面図



皆さまが当センターをご利用する際、1階の正面出入口をご利用いただく機会が多いと思われませんが、実は、当センターには、3階にも出入口があります。

これは、当センターの建屋南側(市道:内郷・平線側)は、北側(県道側(旧6号国道))に比べ、地表が高くなっており、この高低差を活かして、3階に物品搬入口を設置しています。

患者さんやご家族等が当センターを利用する際の導線と、薬剤や治療に使う材料等の物品搬入導線を分離して、患者さん等にご迷惑をおかけしないよう工夫しています。

なお、3階には、材料等をストックする中央倉庫や、薬局、給食調理室等が集約されており、院内の物流配送の拠点となっています。



物品搬入口(3階)



物品中央倉庫

「4」 「実は、4階はスゴインです!」



旧総合磐城共立病院(昭和50年代)
左:手術室 右:ICU(集中治療室)



医療センター(現在)
左:手術室 右:ICU(集中治療室)



当センターは、市民の皆さまの健康と生命を守る「最後の砦」として、24時間365日休むことなく診療を続けています。

それを支える心臓部が4階に集約されています。

ここには、13の手術室や、心臓カテーテル治療室、血管治療室など、最新鋭の設備を設置し、当センターの高度・急性期医療を提供する環境を整えているほか、ICUやHCU等の「高度治療エリア」も集約し、まさに生命を守る最前線として大きな役割を果たしています。

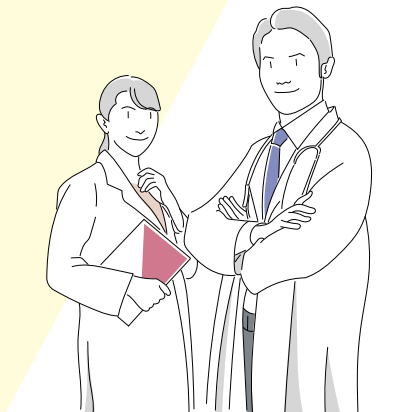
また、1階の救命救急センターとは専用エレベーターで直結されるなど、1分1秒を争う事態にも迅速に対応できるよう工夫しています。

※旧共立病院時代の懐かしい写真が出てきましたが、これからも患者さんにとってより良い医療を提供できるよう心掛けて参ります。

院内トピックス

情報

研修医マッチング (令和5年度 研修開始) 結果発表



令和4年10月、令和5年4月採用研修医のマッチング(組み合わせ)発表がありました。当センターでは、医科12名を募集し、4年連続のフルマッチとなりました。

日頃より熱心にご指導くださる院内外の指導医の先生方に改めて御礼申し上げます。

当センターは、今後も学生から研修の場として選ばれるよう取り組んでまいります。

情報



全国公立病院連盟第91回 総会・事務長会・看護部長会 合同会議が開催されました

令和4年11月17日、宮城県仙台市の江陽グランドホテルで、全国公立病院連盟第91回総会・事務長会・看護部長会合同会議が開催されました。

全国公立病院連盟は、大正13年に設立された日本の病院団体では最古の団体であり、また、大正14年(1925年)の第1回総会開催から今回で91回を数えるなど、歴史あるもので、今回は、当センターが主催病院を務めました。

会議ではWeb参加の方を含めた総勢145名により、各病院の病院経営や、令和6年4月に迫った働き方改革への取り組み等について議論が交わされるなど、とても有意義なものとなりました。

情報



CT装置を 更新しました

当センターでは、これまでもCT(Computed Tomography)を活用した検査等を行っていましたが、このたび、CT装置を更新いたしました。

本装置では、320断面からの撮影を可能とするマルチスライス技術により、撮影時間の短縮と低被ばくを同時に実現しています。

また、AI技術の搭載によりノイズが軽減されるなど、撮影した画像をより鮮明に処理することが可能となりました。

当センターでは、今回紹介したCT以外にも様々な医療機器を活用しており、引き続き、高度医療の提供に努めてまいります。

えん



「サポートサロン えん」だより

がん患者さんやご家族の皆様にも、ゆったりとくつろぎ、安らげる場を提供し、また必要な支援につなげるためのサポートを行うことを目的として、1階に「サポートサロン えん」を設置しております。看護師が常駐しており、療養中の患者さんやご家族のさまざまな不安や心配事についてお話を伺っておりますが、その他にも「専門相談」として、栄養士、薬剤師、臨床心理士の相談も行っております。「専門相談」は当センター通院中の方が対象で、予約制となっております。

食事と栄養の相談(栄養士)
毎月第2木曜日

お薬の相談(薬剤師)
毎月第3木曜日

こころの相談(臨床心理士)
毎月第4木曜日

情報



看護部の小幡嘉奈子看護師が 認定看護師の試験に 合格しました

当センターの小幡嘉奈子看護師が、日本看護協会が認定する「乳がん看護認定看護師」の試験に合格しました。

乳がんの治療は、手術のほか薬物療法や放射線治療を中心に行われますが、他のがんと比べて長期間にわたる治療や経過観察が必要になります。認定看護師は、それらの治療等に伴う、体や心のサポートや、手術後に起きやすい合併症の1つである「リンパ浮腫(むくみ)」予防のためのアドバイスなどを行います。その他、乳がんに対する看護の質を向上させるため、他の看護スタッフの育成や指導を行う役割も担うことになります。

情報



中央検査室の 岩田技師・猪狩技師が 心電図検定の資格を 取得しました

中央検査室の岩田智久技師が「心電図検定1級」、猪狩美咲技師が「心電図検定3級」の資格を取得しました。心電図検定とは、心電図にかかわる多くの知識を普及させ、医療の質の向上につながる活動を支援することを目的として設置された資格です。

心電図は測定が簡便であり、日常診察や健康診断、救急救命の現場など幅広い場面で使用されていますが、心電図の正確な判読には深い洞察力と多くの経験、訓練が求められます。両技師には、高度な知識・判断が必要とされる場面でのさらなる活躍を期待しています。

情報



薬局の中井晃子技師が 妊婦・授乳婦薬物療法 認定薬剤師の資格を 取得しました

薬局の中井晃子技師が日本病院薬剤師会の妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師の資格を取得しました。

妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師は、妊娠・授乳期における胎児・乳児に配慮した薬物療法を、有効かつ安全に行うことができる薬剤師に対しての認定資格となります。日本全国でも認定者は160名しかおらず、福島県浜通りでは初めての取得となりました。



それぞれ13:30~15:00まで30分ごとの3枠の予約が可能です。不安や疑問などを気軽にご相談いただき、少しでも療養生活を安心して送っていただけるようなお手伝いをさせていただきたいと思っております。

お問い合わせは
がん相談支援センター TEL26-3117

までお願いします。



外来担当医一覧

区分	ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
<p>◆ 内科 ※IBD=炎症性腸疾患 糖=糖尿病科外来 内=内分分泌科外来 ※一つの欄に複数の名前がある場合は、記載の医師が当番制により担当します。 ※禁煙外来は、患者サポートセンターを通しての予約となります。</p>											
内科一般(新)	E09	油井 満		油井 満	油井 満 禁煙外来14:00	(当番制)			油井 満		(当番制)
消化器(新)	E08	高橋 成一 小針 圭介 (交代)		池谷 伸一 須貝 吉樹 (交代)		越後 紘治 西丸 響 (交代)		高井 智剛 猪狩 剛 (交代)		土佐 正規 池田 智之 (交代)	
消化器内科	F31									上野 孝治	
	F34									高橋 成一	
	E11	池田 智之				中山 晴夫		池田 智之		越後 紘治	
	E12	須貝 吉樹 (隔週)		高井 智		須貝 吉樹		池谷 伸一		猪狩 剛	
	E13				土佐 正規 IBD専門	土佐 正規	高橋 成一 IBD専門	西丸 響		小針 圭介	
循環器内科	F22	山本 義人 (新患)		瀬川 将人	第1・3 ペースメーカー	山下 文男		山本 義人 (第1・3)	山本 義人 (第2・4)14:00~	塙 健一郎	
	F23	工藤 俊		杉 正文	第2・4 ICD			杉 正文 (新患)		野木 正道	
	F24					土屋 聡		渡辺 翼		千葉 直貴	
糖尿病・内分泌科	E17							齊藤 道也 禁煙外来(第2・4)		大 学 (交代)(糖)	
	E18						渡辺 崇 (糖)			齋藤 悠 (糖)	
血液内科	F32	阿久津和子		齋 敏明		濱崎 洋一		濱崎 洋一	阿久津和子 14:00~	齋 敏明	
脳神経内科	E11			大 学							
	E15			大 (第2・4)学						阿部 康二 (第2・4)	
心療内科	F25	岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽		岩橋 成壽	

ブース名	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
<p>◆ 小児科 【午後(専門外来診察)は完全予約制】 ※循=循環器 血=血液 内=内分分泌 ア=アレルギー 新=新生児発達 1=1ヶ月児健診 予=予防接種 腎=腎臓 神=神経</p>										
B41	鈴木 潤	森島 重弘	鈴木 潤	八重樫 未来	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤	遠藤 起生	鈴木 潤	
B52	八重樫 未来	石井 まり	八重樫 未来		野寺 真樹	神 腎	野寺 真樹	藤江 弘美	藤江 弘美 神	
B53	三浦 貴朗		三浦 貴朗		大原 信一郎	腎内	三浦 貴朗		八重樫 未来	吉原 康 内
B54	(交代)		(交代)		八重樫 未来	鈴木 保志朗	(交代)	鈴木 保志朗	(交代)	
B43			本田 義信	新	八重樫 未来	予				本田 義信 新
<p>◆ 小児外科 ※月曜日午後の診察は、午前中での手術の状況により休診する場合があります。</p>										
B44	(手術)	神山 隆道	佐野 信行		(手術)	神山 隆道	神山 隆道		(手術)	佐野 信行
B45		佐野 信行	町野 翔			町野 翔	町野 翔			町野 翔
<p>◆ 皮膚科 ※火曜日の診察は10:00からになります。</p>										
F42			非常勤	非常勤	非常勤					
<p>◆ 心臓血管外科</p>										
F33	遠藤 由樹	入江 嘉仁		入江 嘉仁	遠藤 由樹					
F34	中野渡 仁	深田 靖久			北川 彰信	深田 靖久				
<p>◆ 呼吸器科 ※内=内科 外=外科 ※呼吸器内科は、全て再来診察のみとなります。</p>										
B22			(手術)				福原 光朗(外)			
B23	高木 玄教(外)								大 学(外) (院内紹介)月1回	
B24	大 学(外) (院内紹介)月1回									
B25	大 学(内)								大 学(内)	
B26			大沼 菊夫(内)				大沼 菊夫(内)			
<p>◆ 外科</p>										
A16	新谷 史明		川口 信哉		川口 信哉		白相 悟		吉田 寛	
A17	小林 直哉		白相 悟		根本 紀子 乳腺		河野 えみ子		永井 有	
A18			吉田 寛				佃 和彦			
A19	根本 紀子 乳腺		佐藤 正樹 上野 未来		九里 孝雄 甲状腺		乳腺外来・非常勤 (第2・4)		根本 紀子 乳腺	
A14			土師 陽一				吉町 信吾			
A13			藤川 奈々子				藤川 奈々子			

◎学会や緊急手術等により急遽変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

◎当センターでは予約診察を行っており、表中の 部は予約優先(一部完全予約制)となります。詳細は各診療科でご確認ください。

令和5年2月～

 = 予約診察

フーズ	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
◆ 形成外科 ※形成外科は日にち予約となります。										
F36		檜垣 仁志		檜垣 仁志		(当番制) 14:00～		檜垣 仁志		明星 里沙
F37		前田 藍		明星 里沙				明星 里沙		前田 藍
F38		齋藤 かれん		前田 藍				小貫 ひかり		齋藤 かれん
F42		小貫 ひかり						齋藤 かれん		
◆ 産婦人科 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。										
F51	(交代)		金杉 優		西山 浩		西山 浩		西山 浩	
F55	(交代)		本多 つよし		本多 つよし		本多 つよし	金杉 優	本多 つよし	
F62	(交代)		大関 健治		金杉 優		大関 健治	浅井 隆之	大関 健治	
F64	三瓶 稔		清野 恭子	1ヶ月健診	三瓶 稔		清野 恭子		三瓶 稔	
◆ 整形外科 ※脊=脊椎 外=外傷・骨折 手=手・外傷 足=足・外傷 ※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。										
A01	鎌田 久美 股一	安永 亨 14:00～16:00 ス	菅野 敦子 (第2・4) 滑液膜症		安永 亨 膝一		川崎 有希 手外		安永 亨 膝一	
A02	高橋 忠久 一		川崎 有希 手外		笹島 功一 外足		笹島 功一 外足		秋山 優人 一	
A06	中村 正隆 脊一		江尻 莊一 手麻		箱崎 道之 腫一		江尻 莊一 手麻		中村 正隆 脊一	
A07	相澤 利武 肩股				相澤 利武 肩股				近澤 賢人 一	相澤 利武 10:00～11:00 15:00～16:00 肩股
A08	松澤 岳 肩股		利木 成広 手外		秋山 優人 一		利木 成広 手外		高橋 忠久 一	松澤 岳 肩股
A09	福嶋 勝大 10:00～		中村 正隆 脊一		(交代)		鎌田 久美 股一		大谷 晃司 脊一	
A14					佐藤 恵 一				近澤 賢人 一	
◆ 脳神経外科										
A12	鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏	
A13	二宮 敦彦		(手術)		二宮 敦彦		(手術)		二宮 敦彦	
◆ 泌尿器科 ※水曜日は、新患の診察は行っていません。										
B31	(交代)		徳山 聡		徳山 聡 (手術)		徳山 聡		井上 拓也	
B32	(手術)		上野 誠司		竹田 篤史 (手術)		上野 誠司		上野 誠司	
B33	(手術)		竹田 篤史		上野 誠司 井上 拓也 (交代)	(手術)	井上 拓也		竹田 篤史	
◆ 眼科 ※毎月第1月曜日は小児外来のみとなります。										
E04	齋藤 昌晃		齋藤 昌晃	手術	齋藤 昌晃		齋藤 昌晃	手術	齋藤 昌晃	
E03		大学		検査・治療 (予約のみ)	大学	検査・治療 (予約のみ)	非常勤	検査・治療 (予約のみ)	大学	検査・治療 (予約のみ)
E02										
◆ 耳鼻咽喉科【完全予約制】										
G02	(交代)		西條 聡		(交代)		西條 聡		西條 聡	
G03	(交代)		河田 怜	検査	(交代)		河田 怜	処置	河田 怜	腫瘍外来
G04	(交代)		鷗沼 むつ貴		(交代)		鷗沼 むつ貴	小手術	鷗沼 むつ貴	
G05	(交代)		戸塚 大幾		(交代)		戸塚 大幾		戸塚 大幾	
◆ 歯科口腔外科 ※午後は予約診療となります。										
G14	内藤 博之				内藤 博之		佐藤 浩子		稲田 潤一郎	
G16	佐藤 浩子 (外来手術)		(手術)		佐藤 浩子 (外来手術)		内藤 博之 (外来手術)		内藤 博之 (外来手術)	
G17	稲田 潤一郎				稲田 潤一郎		稲田 潤一郎		佐藤 浩子	
◆ 麻酔科 ※01=術前評価 02=ペインクリニック ※当番制=麻酔科医師が当番制で担当します。 ※月～木曜は、日にち予約となります。										
4階 01		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)		術前評価(交代)
4階 02										飯嶋 千裕
◆ 放射線治療科										
04		藤本 圭介	藤本 圭介		藤本 圭介	非常勤(新患)	非常勤(再診)	藤本 圭介		
◆ 緩和ケア内科										
A18		阿部 道夫								池谷 伸一
A12							渡邊 睦弥			
◆ 透析センター外科										
F31			小柴 貴明					小柴 貴明		



編集後記

このたび、当センターを紹介したPR動画が完成しました。
当センターの施設案内や、地域における医療機能の役割などについて紹介したものと、医療スタッフにインタビューを行い、業務を行う中で日々感じていること等をまとめた2本となっています。
どちらも必見ですので、ぜひご覧ください!



- 院内紹介(<https://www.youtube.com/watch?v=EZ8cFbQgt3s>)
- スタッフインタビュー(<https://www.youtube.com/watch?v=jTeBMPxqhlk>)

基本理念

「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

「慈心」(じしん)

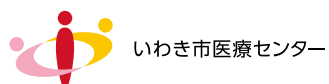
相手を慈しみ思いやる気持ちで患者さんに接すること。

「妙手」(みょうしゅ)

優れた医療技術で診察、治療を行うこと。

基本方針

1. 浜通り地区の中核病院としての役割を担います。
2. 地域と連携し、高度医療、先進医療、救急医療の充実に努めます。
3. 明日を担う医療従事者を育成します。
4. 患者さんと職員との信頼関係を築くことに努めます。
5. 安全で安心な医療を提供するため「チーム医療」を実践します。
6. 自治体病院として良質な医療の提供と健全経営に努めます。



いわき市医療センター

みまや通信

● 編集・発行 / 広報委員会 ● 発行責任者 / 相澤 利武
〒973-8555 福島県いわき市内郷御厩町久世原16
TEL 0246-26-3151(代)
FAX 0246-26-2404(経営企画課)
<https://iwaki-city-medical-center.jp/>
Email:kyoritsu@iwaki-city-medical-center.jp

